

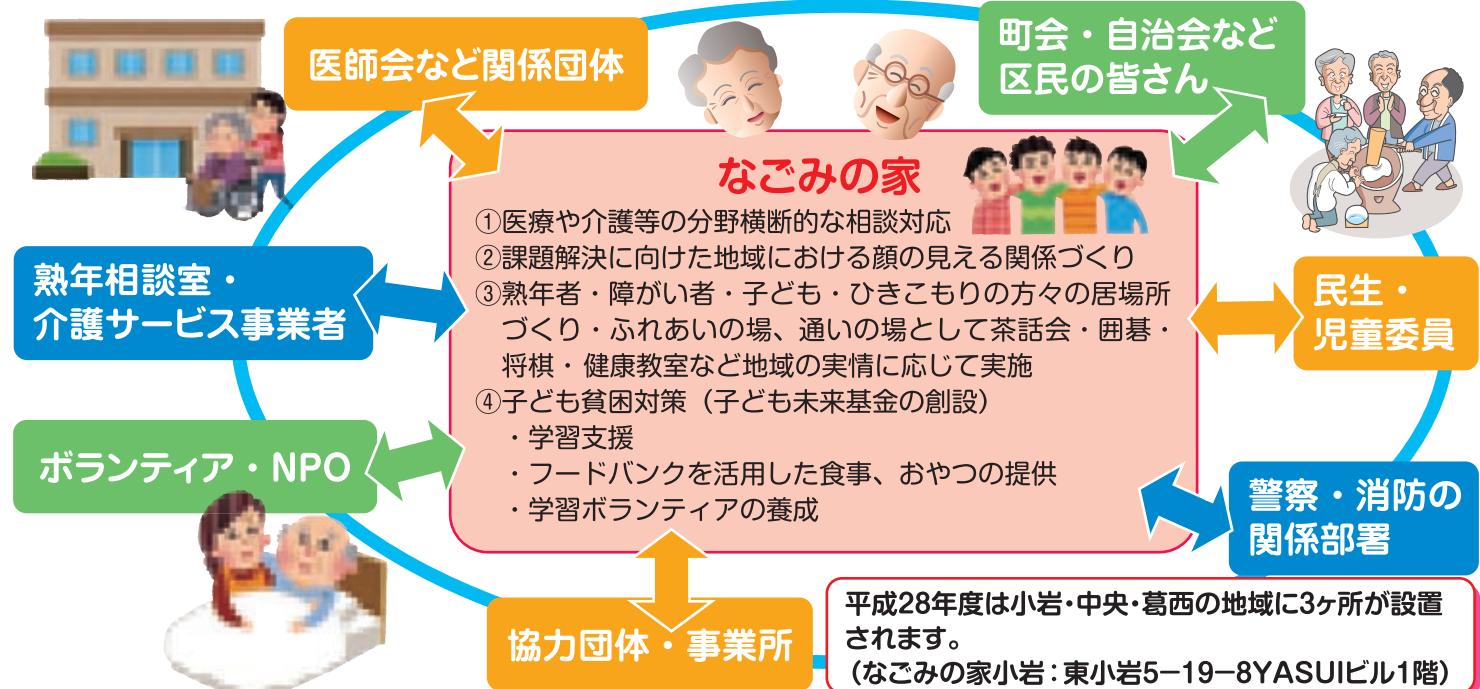


# 「ひとりのために!地域のために!」

## 平成28年度予算に区議会公明党の要望が実現!

「なごみの家」は、福祉や医療に精通した専門職が様々な分野の相談に対応するとともに、地域の支援者が顔の見える関係づくりを行う場です。また、ボランティアの協力のもと誰もが気軽に集いふれあえる場としての機能を持つ福祉拠点として、区民の身近な場所に展開していきます。

### 誰もが集い、相談できる福祉拠点「なごみの家」の整備を推進!



### 認証保育所の保護者 負担軽減補助を実現!



世帯年収概ね  
300万円未満: 25,000円/月  
500万円未満: 15,000円/月  
(乳児養育手当受給者は、差額を支給)

### 食べられるのに捨てられる「食品ロス」を考えましょう!

食品ロスとは、

まだ食べられるのにゴミとして捨てられてしまう食べ物のことです。食品ロスをなくすために、私たちにできることを始めてみませんか。

日本では、年間1700万㌧の食べ物が捨てられていますが、大量に捨てているのはスーパー・コンビニだと思いきや、実は食品ロスの半分は家庭で発生しています。料理を作りすぎて食べ残してしまったり、食べられる食品を廃棄したりということは、誰もが経験をしていると思います。

#### そこで「食品ロス」削減にチャレンジ

#### 食品ロスをなくす為の五箇条

- 一、 お買いもの前に冷蔵庫をチェック  
食材を買い過ぎないように、買い物前に食材の在庫を必ず確認しましょう。
- 二、 食べきりクッキングをしよう  
食材の捨ててしまいがちな部分も、ひと工夫で残さず食べられます
- 三、 外食では食べられる量を注文しよう  
注文前に確認することで食べ残しを減らせるので、しっかりとチェックしましょう。
- 四、「消費期限」と「賞味期限」の違いは?  
消費期限は食べても安全な期限のため、期限内に!賞味期限はおいしく食べられる期限なので、見た目や臭いなどで個別に判断しましょう。
- 五、 災害用は、食べて買い足す日常備蓄!  
日常備蓄を心がけるとともに、消費期限に気をつけながら順番に消費し、買い足せばムダな食品が出ません。



食品ロスを訴える堀江区議  
(小岩公園前にて)